

こちのみ新聞



ですが、それが気にならないぐらい緊張していました。

どんな仕事？

「こちのみ」では、利用者さんが集まられた場所で、お茶出しをすることから朝の仕事が始まりました。一日の詳しい活動内容は左のとおりです。

- 9:30~ 利用者のお迎え(玄関～ホール)
- 10:00~ お茶準備、配茶(自己紹介しながら)
- 一緒に体操、手作業
- 11:50~ 食事準備・配膳
- 12:00~ 休憩 (交流室使用)
- 13:00~ 洗濯物干し
- 14:00~ 体操、ゲームの補助
- 15:00~ お茶準備、片付け、移動介助体験
- 15:50~ 終了(掃り支度) 手洗い、手指消毒
- 16:00~ こちのみ出発

ぼくから利用者さんとお話をするにはなかつたですが、いろいろと話しかけてもらいました。会話をするとというより、聞き役に徹していました。

『絵を描くことが得意』と事前にお話していたので、絵を描く仕事を担当しました。日頃描く絵と違っていたので、とても時間がかかったし、緊張しました。自分が描いた絵で利用者さんがぬりえをしておられる姿

を見ると、照れくさくて恥ずかしかったです。利用者さんと一緒に「風船バレー」などをやりました。風船を打つときに、声をかけるのが難しかったです。自分のところに来ると、ドキドキしました。力加減も難しかったです。

こんな人が 回っている

「こちのみ」にはいろいろな利用者さんがおられました。職員さんたちが一人一人と活動をしておられる様子を見て、この仕事は体力が必要だなと感じました。

職場体験を終えて

職場体験をしてみて、こちのみの利用者さんと最初は会話をするのがすごく緊張したけれど、後からは普通に話すことができました。二日目になると、だいぶ雰囲気には慣れてきて利用者さんとは話しやすくなったし、利用者さんのほうから話しかけてくれる時もあったので、少しうれしかったです。最終日はさすがに疲れました。また、食器洗いもしました。流しの高さが



低くて、腰が痛かったけれど最終日まで頑張れました。

三日間の体験を通して、働くことの大変さを感じました。三日間だけでも疲れたのに、職員の方たちは毎日やっておられるので、すごく元気だと思いました。

また、職員の方たちが働かれている姿を見て、いつも利用者さんのことを考えながら声をかけたりしておられるなと思いました。

(高尾 敦成)

十月四日から三日間、職場体験を行いました。僕は、小規模事業所とちのみで体験をしました。

体験の活動内容は事前にもらっていたのでわかっています。ですが、ひとりで出勤することに不安がありました。

当日は、予定より早くついてしまったので、しばらく外で待っていました。寒かった

緊張の中当日を迎えました。

当日は、予定より早くついてしまったので、しばらく外で待っていました。寒かった